

(3) 昭和59年度収藏品一覧

(昭和60年3月31日現在)

| 種別 | 作家名 | 作品名 | 点数 | 備考 | 合計 |
|------|-----------|------------|----|----|----|
| 日本画 | 福王寺 法林 | バドカオンの月 ほか | 2 | 購入 | 7 |
| | 大山 忠作 | O先生 ほか | 2 | 〃 | |
| | 〃 | 幼童曼茶羅 | 1 | 受贈 | |
| | 安田 毅彦 | 茶室 | 1 | 購入 | |
| | 小茂田 青樹 | 薫房 | 1 | 〃 | |
| 国内洋画 | 寺田 政明 | 谷中風景 ほか | 3 | 購入 | 13 |
| | 〃 | 夜の花 ほか | 2 | 受贈 | |
| | 若松 光一郎 | 暈 ほか | 3 | 購入 | |
| | 〃 | 北国の記念碑 | 3 | 受贈 | |
| | 田口 安男 | 眼の影 | 1 | 購入 | |
| 吉井 忠 | 寓話 | 1 | 〃 | | |
| 海外洋画 | カミーユ・ピサロ | エラニーの菜園 | 1 | 購入 | 1 |
| 海外彫刻 | エミリオ・グレコ | スケートをする女 | 1 | 受贈 | 2 |
| | ジャコモ・マンズー | 車に乗った子供 | 1 | 〃 | |
| 合計 | | | | | 23 |

2 美術品等の移管

美術館の設置により福島県文化センターの福島県美術博物館が、それまで収集してきた美術品を福島県立美術館に管理替えした。

福島県美術博物館からの移管作品分類

| | | | | | | | |
|-----|------|------|-----|----|-----|------|------|
| 日本画 | 111点 | 国内洋画 | 91点 | 版画 | 40点 | 彫刻 | 48点 |
| 工芸 | 33点 | 書 | 36点 | 素描 | 6点 | (合計) | 365点 |

3 美術品等の管理・保存

(1) 美術品等の移転

昭和54年度より収集してきた美術品は、福島県歴史資料館(県文化センター内)の仮収蔵庫に保管していた。それらと前述の移管作品を美術館に搬入した。(6月13日～14日)

(2) 収蔵庫・美術品等の燻蒸

収蔵庫の安全と美術品等の保全のために、カビや虫の防除を目的としてエキボンガスによる燻蒸を行った。(8月2日～4日)

(3) 美術品等の保存

美術品等を良好な環境・状態で展示し、また、保存して行くために、展示施設並びに収蔵施設の空調管理や点検を厳重に行い、作品の状態が著しく悪いものを修復した。(修復作品)

- ・「逍遙」 宮川 教助 キャンバス・油彩
- ・「裏磐梯」 斎藤 与里 〃
- ・「運動会之図」 坂内 青嵐 紙本著色・屏風

(4) 美術品等の貸し出し

| 作家名 | 作品名 | 貸出し先 | 展覧会名・期間 |
|-------|----------------|------------|-------------------|
| 斎藤 正夫 | ドロア・グラス ほか 計2点 | 白河市歴史民俗資料館 | 斎藤正夫展 59.9.2～9.23 |

| 作家名 | 作品名 | 貸出し先 | 展覧会名・期間 |
|-------|------------------|----------|----------------------------------|
| 亜欧堂田善 | 新訂万国全図 1点 | 〃 | 松平定信公と白河ゆかりの文人画家たち 59.10.16～11.4 |
| 関根 正二 | 一本杉の風景 1点 | 姫路市立美術館 | 近代日本の洋画展 60.3.2～4.7 |
| 斎藤 清 | 会津の冬(26) ほか 計52点 | 郡山市教育委員会 | 大山忠作 斎藤清 二人展 60.3.15～3.24 |
| 大山 忠作 | O先生 ほか 計6点 | | |

第3節 展 示

常設展示室では、収蔵品を系統的に展示し、3か月に1度の展示替えを行うなど、作品の保全とともに観覧に寄与してきた。拡大常設展示では、通常の常設展示室に1室加えてテーマ展示し、より多くの収蔵品を観覧する機会を設けた。また、11月3日は無料開放し3千を超える観覧者を迎えた。

企画展示室では、7月22日より開館記念の企画展を3回、通常の企画展を1回開催し好評を博した。

1 常設展示

- (1) 第1期 7月22日～9月30日 109点(10,241人入場)
 - (2) 第2期 10月2日～12月27日 113点(9,424人入場)
 - (3) 第3期 1月5日～3月31日 107点(5,305人入場)
- 常設展示入場者数 31,124人(無料6,154人・有料24,970人)

2 拡大常設展示

- (1) 前期 12月1日～12月16日 74点
 - ・ジョルジュ・ルオーの版画集「ミゼレール」全作
 - ・「福島的美術家たち」……彫刻・工芸を主として
- (2) 後期 1月11日～1月31日 53点
 - ・ベン・シャーンの版画集
 - 〈リルケ「マルテの手記」より〉全作
 - ・「福島的美術家たち」……彫刻・書を主として

3 企画展示

| 展覧会名 | 開催期間 | 主旨と概要 |
|---|---------------------|--|
| 開館記念展第1部 生きること・描くこと 戦後の名作にみる人間像 (10,536人入場) | 昭和59年 7月22日 〃 8月19日 | 戦後を代表し、特に「人」をテーマにした作品に特色のある洋画家・日本画家31人に焦点をあて、代表作134点を展示した。 |
| 開館記念展第2部 ミロ回顧展 (9,083人入場) | 9月1日 〃 9月31日 | ジョアン・ミロのバルセロナ時代から南仏時代まで、油彩、水彩、版画、セラミック等181点とミロの友人の写真家カタラ・ロカによる作品を展示した。 |
| 開館記念展第3部 現代東北美術の状況展 (6,243人入場) | 10月13日 〃 11月18日 | 選考委員会によって四百数十名の中から選ばれた、東北6県出身及びゆかりの作家59人の近作、174点の平面・立体で、同時代の美意識を展望した。 |
| 現代版画の軌跡展 (4,966人入場) | 昭和60年 2月15日 〃 3月24日 | 戦後の我が国の版画界をリードしてきた43名の代表作を185点展示し、戦後の版画の動向と、さまざまな版種を展覧した。 |

企画展示入場者数33,900人(無料3,080人・有料30,828人)